

安芸地域アクションプランの進捗状況等

H26.9. 4
安芸地域本部

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

農業分野のナスに関しては、生産者との勉強会などを中心に系統出荷率の向上や土佐鷹販売量の増加等の取組を行い、ユズに関しても、栽培農家に対して新植・改植を推進する勉強会や講習会を開催するほか、果汁等の安定供給と販路の開拓などに向けた協議等を行っている。

農産加工施設を整備し奈半利味噌の増産を目指す取組は、関係者等と協議を行い、産業振興推進総合補助金の活用に向け準備作業を進めている。なお、当地域では台風11号により、農業分野でも大きな被害があったが、地域APの進捗に大きな影響はない見込みである。

奈半利町加領郷漁港で町営水産加工施設を整備する取組については、現在、加工品づくりを行う地元の団体との話し合いや施設の規模などについて関係者との協議を進めている。

林業分野のうち、特用林産物の土佐備長炭については、製造・販売の拡大に向けた今後の具体的な取組について、関係者と協議を進めている。

商工業分野では、室戸市の「楽市」の機能強化について、10月初旬に加工施設建設のための入札が実施できるよう、作業を進めている。

観光部門では、平成27年度に安芸地域9市町村で開催する東部地域博覧会について、7月25日に開催された第3回総会において、実施計画が承認され、4月29日の開幕に向けて、実質的なスタートが切られた。

また、奈半利町に整備を予定している「藤村記念館（仮称）」（地域AP NO.26）については、8月13日に起工式が行われ、施設整備が始まった。

(2) 具体的な動き

① 地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>二つの日本一を有する産地機能の維持・強化</p> <p>■No.1 ナス産地におけるまとまりづくりとブランド化の推進（室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、芸西村）</p> <p>《事業主体》</p> <p>・JA土佐あき</p>	<p>[目標 (H27)]</p> <p>安芸市の系統出荷率：60%</p> <p>土佐鷹の作付面積：80ha</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>安芸市の系統出荷率：60%</p> <p>土佐鷹の作付面積：40ha</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>安芸市の系統出荷率：58% → 実績 57.2%</p> <p>土佐鷹作付面積：40ha → 実績 26.9ha</p> <p>[取組状況]</p> <p>○系統率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域園芸戦略推進会議まとまりづくりチーム会の開催 (5回) ・各地区反省会、現地検討会の開催 (12ヶ所で実施予定)

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.2 ユズを中心とした中山間振興(室戸市、安芸市、安田町、北川村、馬路村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A 土佐あき ・ J A 馬路村 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安芸出荷場での営農相談の実施 (3回、延べ204人へ情報提供) ・ 病害抑制実証成績(CO2施用試験成績等)の周知と実践の喚起(7か所) ・ 地区栽培講習会(2回) <p>○土佐鷹の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土佐鷹普及推進協議会の開催(4回)とJA・園芸連・県で農家を個別に巡回(5月、9月)(栽培面積は、前年度より0.36ha減少の26.5ha) ・ 園芸研究幹事会等の開催(2回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化や重油の高騰による栽培面積の減少 ⇒ 栽培指導を徹底し、生産量の確保に向け取組む <p>[目標(H27)]</p> <p>青果出荷受入量：400t</p> <p>作業受託等の新たな組織づくり：北川村1組織 馬路村1組織</p> <p>加工仕向量：4,670t</p> <p>加工用果皮(A品・B品)の出来高：安芸1,000t 北川 80t</p> <p>J A馬路村加工品販売額</p> <ul style="list-style-type: none"> ユズ茶：1.6億円 化粧品：5,200万円 ポン酢他ユズ加工品：20.7億円 <p>[H26 到達点]</p> <p>青果出荷受入量：400t</p> <p>組織設立に向けた方向性の決定</p> <p>加工仕向量：4,670t</p> <p>加工用果皮(A品・B品)の出来高：安芸1,000t 北川 80t</p> <p>J A馬路村加工品販売額</p> <ul style="list-style-type: none"> ユズ茶：1.6億円 化粧品：5,200万円 ポン酢他ユズ加工品：20.7億円 <p>[H25 到達点]</p> <p>青果出荷受入量：400t → 実績398t</p> <p>組織設立に向けた方向性の決定 → 実績 北川村 方向性を確認 馬路村 組織検討に至っていない</p> <p>加工仕向量：4,500t → 実績4,058t</p> <p>加工用果皮の出来高量A・B品：安芸840t、北川60t → 実績 安芸951t、北川39t</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>J A 馬路村加工品販売額 ユズ茶： 1.6 億円 → 実績 0.8 億円 化粧品： 5,200 万円 → 実績 1.03 億円 ポン酢他ユズ加工品： 20.7 億円 → 実績 33.2 億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○新植・改植の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会（果実品質のワンランクアップなど、5 回）、勉強会（適期防除・カラーリング出荷拡大、14 回、延べ 200 人程度参加予定）の実施 ・母樹園の管理状況確認巡回（3 回予定） <p>○将来にわたってユズ園を維持管理する仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡会等での課題抽出と共有化、活動計画の検討（北川村 8 回予定、馬路村 3 回予定） ・農地流動化及び組織設立等の検討（北川村宋ノ上地区） <p>○ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県版 HACCP 取得に向けた指導（JA 土佐あき、JA 馬路村） ・加工用果皮出荷拡大・品質ワンランクアップ勉強会等開催（23 回予定） ・青果輸出に係る残留農薬検査等に関する検討（2 回予定） ・ジュース製造ラインの改修に関する協議の実施（2 回） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユズ果汁の販売強化、ユズ商品の販売拡大 ⇒ 取り組みの着実な継続
<p>森林資源の活用促進</p> <p>■No.8 木質バイオマス活用の促進（安芸市、芸西村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A 土佐あき ・（有）安岡重機 ・高知バイオマスファーム ・高知東部森林組合 	<p>[目標（H27）]</p> <p>ペレット生産量能力：1,500t/年 木質資源利用ボイラー設置台数：100 基</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>ペレット生産量能力：1,000t/年 木質資源利用ボイラー設置台数：122 基</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>ペレット生産：700t/年 → 実績 661 t /年 ボイラー設置：102 基 → 実績 102 基</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木質資源利用促進事業の事業計画書（ペレットボイラー）の本課提出（安芸市 13 台・芸西村 9 台） ・JA とのペレット調達に係る意見交換 ・木質ペレット製造業者との意見交換 ・ペレットの需給状況（H25 実績）の把握 ・原木調達先候補の一つである安芸森林管理署との意見交換 ・木質ペレットボイラー発注（安芸市 13 台・芸西村 9 台）

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.7 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化(室戸市、東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市木炭振興会 ・土佐備長炭生産組合 	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内でのペレット需要量に対する供給量不足 ・木質ペレットの供給価格 ・燃焼灰の処理 <p>⇒ 木質ペレットの原料原木の安定調達</p> <p>[目標 (H27)]</p> <p>新規就労者確保：就労者5名</p> <p>共同窯設置：6基</p> <p>生産量の増産：30t/年/基</p> <p>新規商品開発：1商品</p> <p>原木配給施設：1箇所</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>新規就労者確保：就労者5名</p> <p>共同窯設置：6基</p> <p>新規商品開発：1商品</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>新規就労者確保：就労者3名 → 実績2名</p> <p>共同窯設置：4基 → 実績4基</p> <p>新規商品開発：1商品 → 実績1商品</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係市町村(室戸市・東洋町)との産振補助金に係る打合せ ・生産者団体(炭玄グループ：3経営体5基)への補助事業等の指導 ・産振補助金に係る打合せ(振興会) ・研修生の募集に係る打合せ(室戸市) ・新規研修生の応募者(3名)の受入を調整中 ・産振補助金に係る打合せ(東洋町) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木調達に係る、原木の価格競争や伐り手の確保(室戸市炭玄グループ) ・木炭生産者全員の一本化に向けた調整(室戸市振興会) ・生産組合の法人化(東洋町生産組合) <p>⇒ 引続き法人化(組織一本化)への検討の働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後継者(研修生)の確保 <p>⇒ 特用林産業新規就業者支援事業の活用</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>水産物のブランド化への取組</p> <p>■No. 10 芸東地域の水産物の付加価値の向上と販路の拡大(室戸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[鮮魚]芸東水産業改良普及協議会 ・[加工品] <ul style="list-style-type: none"> (有)タカシン水産 高知県漁協 <p>■No. 11 加工体制の強化等によるシラスの魚価等の向上(安芸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業 ・安芸漁協 ・安芸おじゃ娘 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>平均単価 (キンメダイ) : 1,200 円/kg 水揚金額 (大敷漁獲物) : 15 億円 加工品販売金額 : 12,000 万円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>平均単価 (キンメダイ) : 1,200 円/kg 水揚金額 (大敷漁獲物) : 14 億円 加工品販売金額 : 9,000 万円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>室戸市場のキンメダイ取扱量 : 2.3%、1,000 万円 → 実績 1,180 万円 加工品販売額 : 8,600 万円 → 実績 7,483 万円 継続取引件数 : 県外 10 件、県内 12 件 → 実績 県外 15 件、県内 30 件</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪の量販店でキンメダイの宣伝販売を実施 (4回 : のべ 26 店舗) ・定置網における高鮮度処理魚の生産販売を試行 (13 回) ・上記試行の結果報告と今後の対応を協議 ・定置網の朝どれ鮮魚のPR販売を実施 (1 回) ・近海マグロはえ縄漁船の地元水揚げを働きかけ ・ハダカイワシ (低利用魚) のフライ商品を試作 ・シーフードショー東京でキンメダイ等の商談を実施 ・高鮮度処理ビンナガの食味試験を実施 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐乙女マグロ (船上高鮮度処理ビンナガマグロ) の販路拡大の取組 ⇒ 市場ニーズに応じた鮮度処理方法等、技術面の支援 ・近海マグロはえ縄漁による水揚 (地元) 価格形成 ⇒ 産地買受人の購買力や販路に応じた魚種、水揚量等の検討 <p>[目標 (H27)]</p> <p>水揚げ金額 : 201,000 千円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>水揚げ金額 : 159,000 千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>安芸水産売上額 : 96,000 千円 → 実績 63,945 千円 (安芸漁協シラス水揚げ額 実績 135,734 千円)</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸水産との協議(2回) ・他地域シラス漁業関係者との協議(2回) ・安芸おじゃ娘との協議(2回) ・シラスの鮮度維持に関する協議(3回)・シラス水揚状況の聞取り(須崎市の漁協) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じた原魚の確保(安芸水産) ⇒ 香川県庵治漁協から原魚確保
<p>地域の1次産品等を活用した商品づくりと販路拡大</p> <p>■No.6 白下糖の生産の拡大と観光への活用(芸西村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸西村 ・芸西村製糖組合 ・生産者グループ <p>■No.13 安芸市の地域食材を活用した商品づくりの推進(安芸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸市 ・生産団体・グループ ・民間事業者・加工業者 ・安芸市観光協会 ・「はばたけ弥太郎」安芸市推進委員会 ・安芸「釜あげちりめん丼」楽会 ・安芸市商工会女性部 ・JA土佐あき婦人部 ・入河内大根のこそう会 	<p>[目標(H27)]</p> <p>サトウキビ収穫量:40t</p> <p>[H26到達点]</p> <p>サトウキビ収穫量:39t</p> <p>[H25到達点]</p> <p>サトウキビ収穫量:38t → 実績39t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸西村地域AP等協議(3回) ・関係者協議(5回) ・高知県観光拠点等整備事業費補助金(芸西村伝承館改修)交付決定 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原材料(サトウキビ)の確保等の取組 ⇒ 品質向上のための栽培歴作成 サトウキビ作付面積拡大のための買取制度の検討 <p>[目標(H27)]</p> <p>—</p> <p>[H26到達点]</p> <p>—</p> <p>[H25到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸「釜あげちりめん丼」楽会意見交換会(1回) ・安芸「釜あげちりめん丼」楽会検討会(4回) ・安芸「釜あげちりめん丼」楽会総会(1回) ・入河内大根のこそう会総会(1回) ・じゃこサミット実行委員会(8回) ・安芸まるごと丼提供店舗5店舗(安芸市内)

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 14 地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進(奈半利町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈半利町 ・奈半利なんでも市加工グループ ・いちじく加工品グループ ・加領郷漁協女性部 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントでの「ちりめん井」の販売(2回) ・「じゃこメルマガ」の配信開始 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体(「釜あげちりめん井」楽会など)の取組は地元での関係者などと連携した取組が弱い ⇒加工業者との意見交換や小学校への出前講座等で地元の足場を固める取組を進める <p>[目標(H27)]</p> <p>売上高(農産加工品):750万円 売上高(水産加工品):200万円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>加工施設の整備</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工施設整備に関して各加工グループ等との協議(18回) ・加工施設整備のための先進地視察(1回) ・加工グループメンバーの「農業創造セミナー(入門コース、応用・実践コース)への受講支援 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA施設の整備に伴う地域APの修正 ⇒フォローアップ会議(9月)で修正予定 ・町整備の加工施設の取組 ⇒実施主体(漁協女性部など)との事業計画の策定に向けた協議
<p>■No. 15 田野町の地域資源を活用した新商品の開発と販路の拡大(田野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四国部品(株)中芸事業所 ・民間企業 	<p>[目標(H27)]</p> <p>酒粕商品販売額:42,000千円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>酒粕商品販売額:29,160千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>酒粕商品販売額:16,200千円 → 実績6,438千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外の高知県物産展、イベント等への出展(2回) ・産業振興計画シンポジウムでの商品展示(3回) ・新商品の開発・販売(2品目) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域食材を活用した新商品の開発 ・売上増加に向けた販路拡大

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>⇒ 商品コンセプトの明確化と商品の特色に応じた売り方・販売展開</p> <p>生産者組織など関係者との連携構築</p> <p>・地域資源を活用した取組を行う新たな事業者の参加</p> <p>⇒ 課題解決に向けた取組計画の作成、実施</p>
<p>東部地域の直販所等の強化と販路拡大に向けた仕組みづくり</p> <p>■No. 17 キラメッセ室戸「楽市」の機能強化(室戸市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・室戸市</p> <p>■No. 20 地場産品直販所「かっぱ市」の機能強化(芸西村)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・芸西村</p> <p>・(有) かっぱ市</p> <p>・生産者グループ</p>	<p>[目標 (H27)]</p> <p>直販所「楽市」来場者：258,000人</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>整備完了</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>整備基本構想の策定</p> <p>→ 実績：基本構想・基本計画まとめ完了</p> <p>[取組状況]</p> <p>6月20日の産業振興推進総合支援事業費補助金審査会で保留</p> <p>7月28日の産業振興推進総合支援事業費補助金審査会で採択</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>・東部博開催に合わせた施設整備の完成と審査会意見を踏まえた関係者との協議によるソフト面での機能強化</p> <p>[目標 (H27)]</p> <p>売上額：106,000千円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>売上額：125,000千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>売上額：119,000千円 → 実績 124,569千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸西村地域 AP 等協議 (2回) ・製糖体験メニュー実施についての協議 (1回) ・企画会の開催 (1回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花卉類等の出展量の確保 ・新商品の開発及び新商品の原材料(サトウキビ等)確保 <p>⇒ 商品集荷システムの構築</p> <p>テイクアウト商品の充実</p> <p>加工場・飲食施設等の充実</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 18 海の駅を拠点とした地域振興（東洋町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東洋町 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>来場者数：180,000 人</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>来場者数：170,000 人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>新施設早期完成 → 実績：平成 26 年 1 月 12 日オープン</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フェイスブックによる情報発信 ・ 地域特産品を活用した飲食メニューの提供 ・ 海の駅運営協議会開催（7/17） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加工品（加工施設）の検討 <p>⇒加工品開発に向けた来場者の動向とニーズの把握</p>
<p>広域的に連携した観光の推進</p> <p>■No. 21 安芸地域の観光振興の推進～東部地域博覧会の開催～（安芸地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安芸広域市町村圏事務組合 ・ 市町村 ・ 観光協会等 ・ 地域団体 ・ 民間事業者 ・ 高知県東部地域博覧会推進協議会 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>圏内主要施設訪問者数：140,000 人</p> <p>圏内宿泊者数：150,000 人</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>圏内主要施設訪問者数：140,000 人</p> <p>圏内宿泊者数：150,000 人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>圏内主要施設訪問者数：125,000 人 → 実績 115,840 人</p> <p>圏内宿泊者数：140,000 人 → 実績 141,000 人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東部博イベント審査会 3 回 ・ 東部博企画運営部会 3 回 ・ 東部博コアメンバー会 5 回 ・ 東部博幹事会 1 回 ・ 東部博総会 1 回 ・ 東部博広報誘客部会 1 回 ・ 東部博受入おもてなし部会 1 回 ・ 高知県広域観光推進事業費補助金の交付決定 ・ 広域観光アドバイザーによる研修 13 回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施計画策定後の具体的な取組 <p>⇒ 東部博コアメンバー会などの各運営組織の設置 民泊の拡大や体験プログラムの磨き上げ 教育旅行の推進に向けた関係団体との協議 東部博をきっかけにした広域観光組織の立ち上げ</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 27 中芸地区における広域観光の推進(奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中芸広域連合 ・中芸観光協議会 ・中芸商工会 ・観光関連事業者等 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>—</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>—</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域本部による事務局職員の業務支援(総括・支援員2名) ○中芸観光協議会運営会議の開催(2回) ○高知県東部博中芸推進委員会の開催(3回) ○中芸地域グルメ開発検討会の開催(1回) ○GW期間における臨時観光案内及び中芸観光キャンペーンの開催 ○東部博イベント審査会(5/13、6/11)へコアイベント提案(2件) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある旅行商品の造成 ・ガイド等の受入体制の整備 <p>⇒ 東部博(H26.12～、プレ東部博)に向けた協議会の運営体制を強化</p>

②上記以外で特記すべき取組

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 22 世界ジオパーク認証を活かした観光の振興(室戸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市 ・室戸ジオパーク推進協議会 ・室戸市観光協会 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>ジオパークガイド登録者数：40人 ジオパーク関係施設来訪者：70,000人</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>ジオパークガイド登録者数：60人 ジオパーク関係施設来訪者：70,000人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>ジオパークガイド登録者数：50人 → 実績61人 ジオパーク関係施設来訪者：70,000人 → 実績79,657人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県産業振興推進ふるさと雇用事業活用 24,880千円 ・高知県観光拠点等整備事業費補助金活用 拠点施設外構工事実施設計・監理業務委託事業 7,999千円(事業費11,999千円) 拠点施設展示整備実施設計・監理業務委託事業 9,086千円(事業費13,630千円)

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 23 イルカのふれあい体験による交流人口の拡大(室戸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人室戸ドルフィンプロジェクト ・室戸市 	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入体制の強化 ⇒ ジオガイド養成講座(10月以降)とこどもサマースクール(秋以降)の実施内容の検討 ・拠点施設整備 ⇒ 関係機関と拠点施設の展示物や運営体制等について協議 <p>[目標(H27)]</p> <p>室戸ドルフィンセンター来場者数:27,000人</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>室戸ドルフィンセンター来場者数:27,000人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>室戸ドルフィンセンター来場者数:27,000人 → 実績 31,626人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「海の駅とろむ クーポン iRUCA」を2,500部作成し、GW期間中の来訪者に集中的に配布しながら、アンケート調査を行い、今後の営業活動に生かすための情報収集を行った。 ・城西館限定プラン「キンメ井とドルフィン体験プログラム付き宿泊パックプラン」の販売開始(7/12～) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジオパーク等地域の観光素材を組み合わせた情報発信 ⇒ より多くの集客を図るための広報・営業の検討 周辺施設等との連携による集客
<p>■No. 24 岩崎弥太郎生家を核とした観光振興(安芸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸市 ・安芸市観光協会 ・「はばたけ弥太郎」安芸市推進委員会 ・安芸市観光ボランティアガイドの会 ・民間事業者 	<p>[目標(H27)]</p> <p>—</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>—</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高い甲子園」実行委員会(6回) ⇒ 台風11号の影響により中止 ・安芸市ボランティアガイドの会総会(1回) ・「はばたけ弥太郎」推進委員会総会(1回) ・高知県観光拠点等整備事業費補助金の申請準備

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 26 藤村製糸を活用した観光振興(奈半利町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤村製糸 ・なはり浦の会 ・奈半利町 ・なはり観光文化協会 	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部博の拠点施設(パビリオン)の整備に向けた取組 ⇒ 岩崎弥太郎生家周辺の整備内容の検討 展示物等に関する三菱グループとの協議 廓中ふるさと館のリニューアル 整備に関する予算(安芸市9月補正)の確保 <p>[目標(H27)]</p> <p>町並みガイド実績: 800人/年</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>記念館の整備</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記念館建設に関して藤村製糸株式会社との協議: 4回 ・「なはり浦の会」の活動拠点の確認及び活動支援: 6回 ・観光拠点等整備事業補助金の調整: 5回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備後の効果的な運営(活用)策 ⇒ 魅力ある展示内容の検討 地元ガイド組織の「なはり浦の会」との連携
<p>■No. 30 世界に2つの「モネの庭」の誘客強化による交流人口の拡大(北川村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北川村 ・(株)きたがわジャルダン 	<p>[目標(H27)]</p> <p>入園者数: 65,000人</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>入園者数: 60,000人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>入園者数: 60,000人 → 56,281人(H25.2~H26.1)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シェフ配置 ・講師との直接契約による接客マナー研修の実施 ・カフェ改善協議 ・月替わりランチメニューの提供 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来場者の増、経営収支改善の取組 ⇒ 観光協会や宿泊施設などの関係機関との連携強化 飲食部門(カフェメニュー、セルフ形式)の検討

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 32 安田中山地区の活性化プロジェクト (安田町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安田町 ・中山を元気にする会 ・安田川漁協 ・自然薯生産組合 ・味工房じねん ・中山合同女性部 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>—</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>—</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安田ふるさと応援隊の増員 (1名、4/1) ・中山を元気にする会開催 (5回)、交流会開催 (1回) ・集落活動センター整備工事開始 (10月末まで (予定)) ・シェアオフィス仮入居 (東京映画社、11/1 移転予定) ・東京映画社連携事業 (子供による映像制作) 開始 (8/4) ・山芋試験栽培開始 (5月) ・地域づくり (小さなビジネス) 補助金実施計画書の提出 ・高知大学 UBC 赤池特任講師と連携開始 ・高知大・安田町連携協定事業の整理 (8/1) ・温泉湧出調査 (電磁探査) 完了 ・地域防災に関する地元協議 (間下地区、5回) ・町有バスを活用した買い物支援事業試行 (毎月第3木曜) ・地域文化 (獅子舞) の保存・継承に関する協議 (小川地区、5/27) ・地域文化 (獅子舞) 体験事業 (7/27) ・認知症対策に関する啓発活動 (4回) ・「なかやま守り隊」の結成 (7/17) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動拠点の整備 ⇒ 整備の早期着手 関係機関や大学等の連携の強化
<p>■No. 34 馬路村魚梁瀬地区の活性化プロジェクト (馬路村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・馬路村 ・魚梁瀬地区住民団体 (自治会) 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>—</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>—</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民による協議会 (2回) ・ふるさと応援隊募集要項、設置要綱等整備、役場内協議 ・ふるさと応援隊 第一次選考 (書類選考) (7/31)

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>第二次選考(面接)(9/6 予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高知暮らしフェア」においてふるさと応援隊募集説明 (2回) ・丸山公園現状調査(樹木医による桜診断)(4/15) ・野生鳥獣に強い集落づくり事業 チーム会(2回) 集落全体会(1回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部からの人材(ふるさと応援隊)活用 ⇒ 地域住民による検討と移住相談会(説明会)への参加

2 平成 26 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
キラメッセ室戸「楽市」の機能強化	加工販売所の建設 駐車場の拡張 合併浄化槽の交換・移設 公衆トイレの改修	100,810 (50,000)

3 地域アクションプランの追加、修正、削除（予定）項目

[修正] ■ 「No. 14 地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進（奈半利町）」の事業主体に、「JA土佐あき」を追加する。

（理由）現プランに追加して、「JA土佐あき」が所有する加工場の改修も行うこととなったため

■ 「No. 21 安芸地域の観光振興の推進～東部地域博覧会の開催～（安芸地域全域）」の目標値の修正

（理由）推進協議会総会で承認された数値目標と、整合性を持たせるため

4 県民参画に向けた取組

- ・中部地区集落活動協議会（北川村）の場で「第2期産業振興計画 ver. 3」の概要について説明（4月17日）
- ・5月23日開催のシンポジウムへの参加要請を個別に管内企業に行った際「第2期産業振興計画 ver. 3」の概要について説明

5 相談案件：7件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/8	農業	「黒糖」の製造・販売について
2	5/19 6/4 6/26 7/1 7/3	農業	「ミョウガ」を使った加工品の製造・販売について
3	5/20	水産加工業	「スジアオノリ」などの養殖について 体験観光の施設の整備について 加工施設の稼働率向上対策について
4	5/29	農業	「イタドリ」を使った加工品の製造について
5	6/6	飲食店	「ゆず」を使った加工品の製造・販売について
6	6/6	園芸	「果物」を使った加工品の製造・販売について
7	7/15	農業	「ゆず」加工品の販売促進資材（食品表示入りのラベルデザイン、説明パネルなど）の制作について

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
14 地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進 《奈半利町》	地域資源を活用した加工品をつくる施設を整備することにより、地域特産品の生産と販路の拡大を図るとともに地域の生産者の収入の安定化を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・奈半利町 ・奈半利なんでも市加工グループ ・いちじく加工品グループ ・加賀郷漁協女性部 			<ul style="list-style-type: none"> ◆施設整備の検討 ◆加工施設の整備 ◆商品づくり

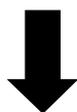
修正前



項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
14 地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進 《奈半利町》	地域資源を活用した加工品をつくる施設を整備することにより、地域特産品の生産と販路の拡大を図るとともに地域の生産者の収入の安定化を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・奈半利町 ・奈半利なんでも市加工グループ ・いちじく加工品グループ ・加賀郷漁協女性部 ・JA土佐あき 			<ul style="list-style-type: none"> ◆施設整備の検討 ◆加工施設の整備 ◆商品づくり

修正後

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
	施設整備の検討 加工施設の整備検討	生産体制づくりの検討			H25売上額 農産加工品 :500万円 水産加工品 :150万円	農産加工品 750万円 水産加工品 200万円
		加工施設の整備 農産加工場の設計・建設 水産加工場の設計・建設	農産加工場の施設拡充 水産加工場の施設拡充			
		商品づくり アドバイザーの活用等による新商品開発 販売ルートの開拓				



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
	施設整備の検討 加工施設の整備検討	生産体制づくりの検討			H25売上額 農産加工品 :500万円 水産加工品 :150万円	農産加工品 750万円 水産加工品 200万円
		加工施設の整備 農産加工場の設計・建設 水産加工場の設計・建設	農産加工場の施設拡充 水産加工場の施設拡充			
		商品づくり アドバイザーの活用等による新商品開発 販売ルートの開拓				

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
21 安芸地域の観光振興の推進 ～東部地域博覧会の開催～ 《安芸地域全域》	安芸地域における市町村が連携して地域博覧会を開催することを契機に、安芸地域外からの誘客を増加させて地域経済の活性化を図る。併せて、地域博覧会により蓄積された広域観光のノウハウを活かすために、広域観光のプロモーション機能や地域コーディネート機能を持つ組織をつくることにより、地域博覧会後における広域観光の推進体制を整備する。	・安芸広域市町村圏事務組合 ・市町村 ・観光協会等 ・地域団体 ・民間事業者 ・高知県東部地域博覧会推進協議会	・観光素材集「土佐東方見聞録」の作成5万部(H21～22) ・DVDの作成 500枚(H21) ・ランドオペレーター1名雇用(H22.6～) ・安芸球場キャンプ誘致活動(H21～23) ・安芸球場改修基本設計(H23) ・エージェントセールス(H25.1.10～11中四国、H25.2.5～6関西) ◆素材集を活用した県外エージェントやマスコミへの営業活動を展開。特に森林鉄道、室戸ジオパーク、モネの庭をメインに東部地域の面的なPRを実施。今後の足がかりにつなげている。	・広域的な連携強化 ・戦略的な商品造成 ・体験メニューの充実と人材育成	◆安芸地域における地域博覧会の開催 ◆広域観光組織の立上げと観光協会等の機能強化 ◆戦略的な広報・PR活動の展開 ◆周遊観光や教育旅行の商品づくり、スポーツ大会等の誘致と観光拠点等の磨き上げ ◆受入体制の整備

修正前



項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
21 安芸地域の観光振興の推進 ～東部地域博覧会の開催～ 《安芸地域全域》	安芸地域における市町村が連携して地域博覧会を開催することを契機に、安芸地域外からの誘客を増加させて地域経済の活性化を図る。併せて、地域博覧会により蓄積された広域観光のノウハウを活かすために、広域観光のプロモーション機能や地域コーディネート機能を持つ組織をつくることにより、地域博覧会後における広域観光の推進体制を整備する。	・安芸広域市町村圏事務組合 ・市町村 ・観光協会等 ・地域団体 ・民間事業者 ・高知県東部地域博覧会推進協議会	・観光素材集「土佐東方見聞録」の作成5万部(H21～22) ・DVDの作成 500枚(H21) ・ランドオペレーター1名雇用(H22.6～) ・安芸球場キャンプ誘致活動(H21～23) ・安芸球場改修基本設計(H23) ・エージェントセールス(H25.1.10～11中四国、H25.2.5～6関西) ◆素材集を活用した県外エージェントやマスコミへの営業活動を展開。特に森林鉄道、室戸ジオパーク、モネの庭をメインに東部地域の面的なPRを実施。今後の足がかりにつなげている。	・広域的な連携強化 ・戦略的な商品造成 ・体験メニューの充実と人材育成	◆安芸地域における地域博覧会の開催 ◆広域観光組織の立上げと観光協会等の機能強化 ◆戦略的な広報・PR活動の展開 ◆周遊観光や教育旅行の商品づくり、スポーツ大会等の誘致と観光拠点等の磨き上げ ◆受入体制の整備

修正後

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
	安芸地域における地域博覧会の開催 博覧会推進協議会の立ち上げ 基本計画の策定	博覧会推進協議会による運営	博覧会の開催		園内主要施設訪問者数 (H22:120,394人) 園内宿泊者数 (H22:137,439人)	140,000人 150,000人
	広域観光組織の立ち上げと観光協会等の機能強化	広域観光組織の立ち上げ及び体制強化			園内観光施設、イベント等集客数(東部地域博覧会の開催に向けた基礎数値) (平成24年度 777,174人)	園内観光施設、イベント等集客数(東部地域博覧会による目標数値) (910,250人)
	戦略的な広報・PR活動の展開					
	周遊観光や教育旅行の商品づくり、スポーツ大会等の誘致と観光拠点等の磨き上げ					
	観光拠点等の磨き上げ <室戸・東洋エリア>室戸ジオパーク、生見・白浜海岸・吉良川町並みなど <中芸エリア>モネの庭・魚梁瀬森林鉄道遺産、中間慎太郎館、奈半利海浜センター、安田まちなみ交流館・和、唐浜食わず貝、塩づくり体験ハウス、藤村製糸など <安芸・芸西エリア>岩崎弥太郎生家、土居廓中、野良時計、伝承館、琴ヶ浜など					
	教育旅行商品づくりと体験プログラムの磨き上げ					
	地域内スポーツ拠点施設等を活用した大会や合宿等の誘致と施設整備(安芸市営球場・中芸広域体育館・室戸広域公園・安芸広域公園など)					
	受入体制の整備	民泊の推進や人材の養成など受入体制の整備				

※主要施設:キラメッセ室戸(館館)、中間慎太郎館、モネの庭マルモックン、安芸市立香道美術館、安芸市歴史民俗資料館、内原野陶芸館



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
	安芸地域における地域博覧会の開催 博覧会推進協議会の立ち上げ 基本計画の策定	博覧会推進協議会による運営	博覧会の開催		園内主要施設訪問者数 (H23~25の平均値:2,180,000人) 園内宿泊者数 (H23~25の平均値:133,000人)	2,556,000人 150,000人
	広域観光組織の立ち上げと観光協会等の機能強化	広域観光組織の立ち上げ及び体制強化			園内観光施設、イベント等集客数(東部地域博覧会の開催に向けた基礎数値) (平成23~25年度の平均値2,313,000人)	園内観光施設、イベント等集客数(東部地域博覧会による目標数値) (2,706,000人)
	戦略的な広報・PR活動の展開					
	周遊観光や教育旅行の商品づくり、スポーツ大会等の誘致と観光拠点等の磨き上げ					
	観光拠点等の磨き上げ <室戸・東洋エリア>室戸ジオパーク、生見・白浜海岸・吉良川町並みなど <中芸エリア>モネの庭・魚梁瀬森林鉄道遺産、中間慎太郎館、奈半利海浜センター、安田まちなみ交流館・和、唐浜食わず貝、塩づくり体験ハウス、藤村製糸など <安芸・芸西エリア>岩崎弥太郎生家、土居廓中、野良時計、伝承館、琴ヶ浜など					
	教育旅行商品づくりと体験プログラムの磨き上げ					
	地域内スポーツ拠点施設等を活用した大会や合宿等の誘致と施設整備(安芸市営球場・中芸広域体育館・室戸広域公園・安芸広域公園など)					
	受入体制の整備	民泊の推進や人材の養成など受入体制の整備				

※主要施設:キラメッセ室戸(館館)、中間慎太郎館、モネの庭マルモックン、安芸市立香道美術館、安芸市歴史民俗資料館、内原野陶芸館、安芸こころざし社中等安芸地域0市町内の計54施設・体験及び東海岸グルメ祭り、室戸岬灯台祭り、ゆずはじまる祭等の東部博覧会イベント